

平成25年度再評価対象事業一覧表
(対象：平成20年度再評価実施事業)

(再評価実施後、一定期間(5~10年)が経過した時点で継続中の事業又は未着工の事業)

番号	項目	事業名 (路・河川名等)	事業目的	事業概要	事業の進捗状況	事業を巡る社会経済情勢等の変化	費用対効果の要因の変化	コスト削減や代替案等の可能性	再評価理由	対応方針 (事業課案)
	再評価時点 H20	佐賀江川 (佐賀江川・新川・八田江・巨勢川・中池江川・巨勢川上流・黒川・焼原川) 広域河川改修事業 事業主体：県 事業地： 佐賀市 神埼市	流路是正、狭窄部解消を行い、治水安全度を向上し、流域の浸水被害の軽減及び排水機場建設により内水対策を図る。 計画流量 240m ³ /s 計画治水安全度 1/50	全体事業費：C=502億円 工期：S48~H35 改修延長：L=41,240m 計画流量：240m ³ /s 計画治水安全度：1/50 事業内容：掘削・築堤 護岸、樋管75基、橋梁56基、堰13基	佐賀江川工区及び新川工区、八田江工区は完成している。 巨勢川工区は完成。巨勢川上流工区は、巨勢川調整池に接する右岸側の整備を完成しており、上流部の用地買収の促進を図っている。 中池江川工区は国道34号下流については、構造物の取付区間を残してほぼ概成し、現在、姉川橋関連で国道と調整を図っている。 焼原川工区は、狭窄部である河川構造物の改築を進め、圃場整備の工程と合わせた築堤の整備を行っている。 黒川工区は、甘橋から下流を完成し、上流部の用地買収の促進を図っている。 国道34号の若淵橋他46橋完成 (H19末進捗率 87%) (年平均進捗率 2.5%)	(過去の災害実績) H2.7 浸水戸数 12,614戸 農地浸水面積 5,447ha (地域の状況) 佐賀江川流域内において、都市化が徐々に進んでいる。 巨勢川中流右岸側では、S63~H8にかけて兵庫土地区画整理事業が完了。巨勢川工区、巨勢川上流工区、黒川工区周辺では圃場整備が完了している。 中池江川は早期改修に向けて、地元及び中池江川改修促進期成会の要望が強い。 焼原川は、周辺において圃場整備が完了している。(S63~H11)	現在(B/C) 5.1		再評価実施後5年が経過	継続
	現時点 H25	佐賀江川 (佐賀江川・新川・八田江・巨勢川・中池江川・巨勢川上流・黒川・焼原川) 河川整備交付金事業(社会資本整備総合交付金：広域河川改修事業)		前回評価時より事業費が増額となった。 全体事業費：C=514億円 工期：S48~H35 改修延長：L=41,240m 計画流量：240m ³ /s 計画治水安全度：1/50 事業内容：掘削・築堤 護岸、樋管75基、橋梁56基、堰13基	佐賀江川工区及び新川工区、八田江工区、巨勢川工区は完成している。 巨勢川上流工区は、金立川合流点まではほぼ概成しており、以後は上流部の暫定区間の整備促進を図る。 中池江川工区は国道34号下流について概ね完成し、姉川橋関連で国道と調整を図っている。 焼原川工区は、狭窄部である河川構造物の改築を進め、圃場整備の工程と合わせた築堤の整備を行っている。 黒川工区は、福島橋の下流200mまでは完成し、来年度完成予定である。 国道34号の若淵橋他50橋完成 (H24末進捗率 91%) (年平均進捗率 2.3%)	(過去の災害実績) H21.7 浸水戸数 39戸 農地浸水面積 259ha 等 (地域の状況) 平成20年度に巨勢川調整池(直轄事業)が完成した。 兵庫北土地区画整理事業などにより、宅地や事業所等の増加が見られる。	最新のマニュアルに基づき、費用対効果を算出した。 ・総便益(一般資産被害額・農作物被害額・公共土木施設等被害額等) B=899,014百万円 ・総費用額 C=139,160百万円 ・現在(B/C) 6.5	・再生材の積極的利用 ・建設副産物の有効利用	再評価実施後5年が経過	平成2年洪水被害を軽減するため、流路是正、狭窄部解消を行い、治水安全度を向上し、地域住民の安心・安全を確保するためには、当事業の継続が必要である。
	理由等	平成22年度より補助金が社会資本整備総合交付金化されたため		・既設護岸利用としていたが、根入不足が判明したため、積替が生じた事による工事費の増。 ・地盤のすべり対策(地盤改良)の追加工事による増。 ・発生土の現場内利用に対し、改良が必要となったことによる工事費の増。 ・残土運搬距離増による処分費の増。			前回再評価時と比較し、住宅や事業所等の資産数量の増によりBが増加し、費用対効果の増となった。			